

# ストップ! 比例定数削減

# 多様な意見が 届く選挙制度に!

「国会議員は減らせばいい」こうした声をよく聞きます。しかし、議員を減らせば、私たち国民の声が国会にきちんと反映されるようになるのでしょうか?

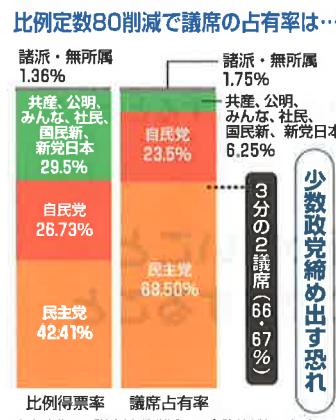
## 多様な意見を ますます切り捨て

1

民主党 4割の得票で議席の7割

2009年総選挙で、公明党、共産党、社民党、みんなの党、国民新党、新党日本の6つの政党は、あわせて30%の得票で議席占有率は9.6%、46議席でした。しかし、民主党が提案している比例定数80削減が実施された場合、これが25議席に減り、30%の得票がたった6.25%の議席にしか結びつかず、「死票」をいつそう増やします。

一方、民主党は比例定数削減により、42%の得票で68%の議席を占めることができます。多様な民意がいつそう切り捨てられる仕組みとなります。



## “死票”を生まない 制度こそ必要

2

民主主義とは一人ひとりの声を切り捨てないこと。だから日本国憲法では、国会は選挙を通じて、国民の多様な意思を忠実に反映しているものでなければならないとしています。しかし、いまの選挙制度は小選挙区制によって、議席に結びつかない「死票」をたくさん生み、多様な意見を切り捨てています。

多様な意見をくみ取る上では、比例代表制による選挙が世界的流れになっています。「国民こそが主権者」という原点に立ち返り、多様な民意を公平、公正に反映する比例代表制のような選挙制度にこそ改正すべきです。

### 日本の国会議員は多すぎる?

	下院数	人口100万人あたりの下院議員数
イギリス	659	11.1人
イタリア	630	11.0人
カナダ	301	9.8人
フランス	577	9.7人
ドイツ	656	8.0人
日本	480	4.0人
アメリカ	435	1.5人
北欧では…(一院制)	349	39.4人
スウェーデン	200	38.8人

\*データは共同通信社の世界年鑑のページを参考してまとめたもの

### 小選挙区で大きくずれる 政党的得票率と議席占有率

	小選挙区	
	得票率	議席占有率
2005年衆院選 自民党	47.8%	73.0%
2009年衆院選 民主党	47.4%	73.7%

## ねらいは消費税増税・憲法改悪

民主党は大企業への減税の財源を保証するために、消費税増税を狙っています。また、平和憲法の改悪も視野に入っています。「反対意見が国会に届きにくくなるようにしたい」というのが、比例定数削減の本当のねらいです。

「比例定数削減は許さない」という声を大きくあげて、消費税増税・平和憲法改悪をストップさせましょう。



私たちは憲法を守り活かす  
運動を進めています

署名にご協力ください



全国労働組合総連合

〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館4F  
TEL 03-5842-5611 FAX 03-5842-5620

<http://www.zenroren.gr.jp>

# 衆議院比例定数削減に反対し、 民意を反映する制度への改善を求める請願書

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

## 《請願趣旨》

民主党政権は公約に掲げた衆議院比例定数の80削減について、実行の機会をうかがっています。

比例定数削減は人々のさまざまな声をいま以上に切り捨て、とりわけ弱者の切実な要求を実現する道を閉ざすものです。94年に小選挙区制が導入されて以降、国民生活が急速に破壊され、苦難を強いられてきた事実がそのことを示しています。定数を80削減した場合、2009年の総選挙の結果で試算すると、民主党は4割の比例得票率で小選挙区も含め7割の議席占有率となり、民意が反映されず、一党独裁政治を生み出しかねません。そのねらいは消費税の税率アップや憲法改悪を実現するために2大政党制を定着させ、少数政党を排除し、強権政治を確立することにあります。

国会は国民の意思をくみ上げ、十分な審議を尽くす使命を持った「国權の最高機関」です。国会議員を選ぶ制度は、国民主権の原理に基づき、多様な民意が公平、公正に反映されるものでなければなりません。

国民主権、議会制民主主義の根本を踏みにじる比例定数削減に反対するとともに、民意を反映した選挙制度に改善することを求めます。

## 《請願事項》 ●衆議院の比例定数削減は行わないこと ●民意を反映する選挙制度に改善すること

氏名	住所

※この個人情報は請願以外には使用しません。

取扱団体



全国労働組合総連合

〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館4F

TEL 03-5842-5611 FAX 03-5842-5620 <http://www.zenroren.gr.jp>